

柏市環境基本計画

平成20年度 環境報告書

(事業報告書)



～ 共に生きるために，環境を守り，育て，伝えるまち 柏 ～

本書は，柏市環境基本条例第9条第6項の規定により，環境基本計画に基づき実施された事業の取組状況について，年次報告書として作成し，公表するものです。

柏市

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 柏市環境基本計画の概要 | 1 |
| 平成20年度実施結果の概要 | 8 |
| 実施事業の進捗状況 | |
| 1. 自然環境 - 残された貴重な自然を守る - に関する事業 | 11 |
| 2. 生活環境 - 暮らしの中で環境をいたわる - に関する事業 | 15 |
| 3. 快適環境 - 快適な環境をつくる - に関する事業 | 33 |
| 4. 地球環境 - 地球市民としての意識を育む - に関する事業 | 39 |
| 5. 市民との協働 - 市民とともにつくる環境 - に関する事業 | 43 |

柏市環境基本計画の概要

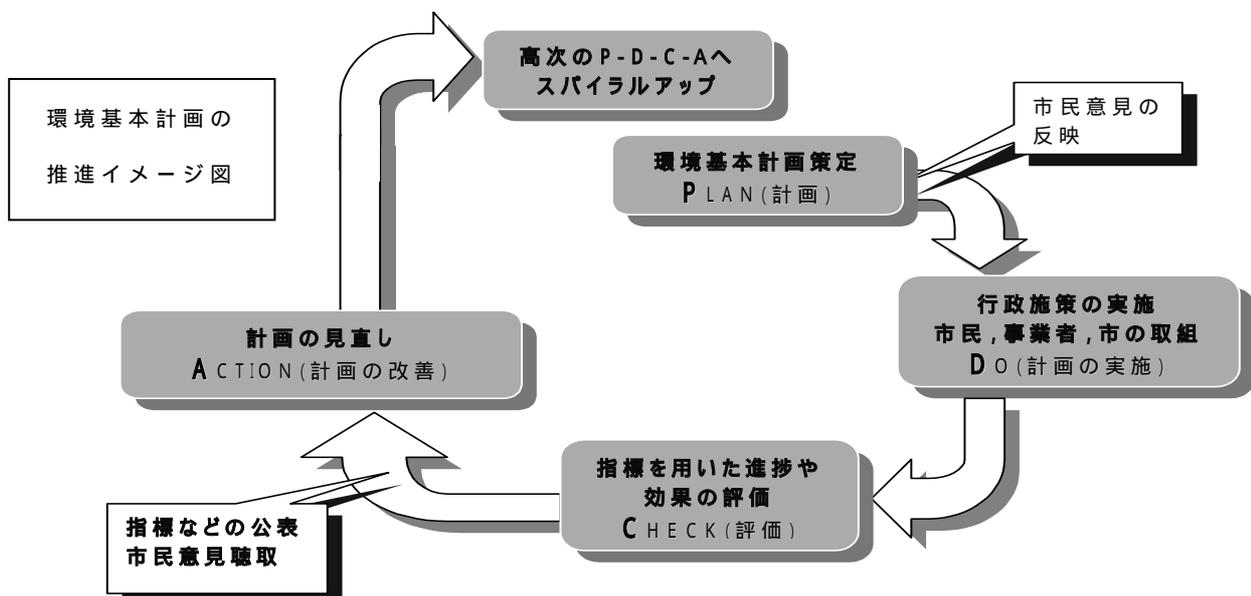
1 計画の目的

本計画は、柏市環境基本条例第9条に基づき、市民、事業者、市の役割を明らかにし、3者が、相互に協働しながら積極的な取組を促進することを目的として以下の点について明らかにしていきます。

環境保全及び創造に関する柏市の将来像
目標を達成するための総合的かつ長期的な施策の方向性
市民、事業者、市それぞれの取組
計画の進行を管理するための推進方策

2 計画の特徴

- (1) 基本目標に、自然環境、生活環境、快適環境、地球環境の分野別目標の他に、その実現のための戦略目標として「市民との協働」を位置づけています。
- (2) 環境の改善が実感できるような「環境指標」を設定しています。
- (3) 市民・事業者・市の具体的な取組として環境配慮指針を示しています。
- (4) 市民、事業者の活動を拡充するための組織として、市民ネットワークを位置づけています。
- (5) 環境マネジメントシステムを利用した進捗管理により、継続的な改善を図ります。



3 計画のめざすもの

(1) 望ましい環境像

将来を展望した総合的、長期的な視点に立ったあるべき姿として、柏市第四次総合計画の「安心」「希望」「支え合い」というキーワードや柏市環境基本条例の基本理念を踏まえ、望ましい環境像を次のように定めています。

共に生きるために、環境を守り、育て、伝えるまち 柏

(2) 基本目標

望ましい環境像の実現に向けて、「自然環境」「快適環境」「生活環境」「地球環境」の4つの分野別目標とそれらの分野別目標を達成するための手法や手段の方向性を示した戦略目標を設定します。

分野別目標

自然環境

残された貴重な自然を守る

分野別目標

生活環境

くらしの中で環境をいたわる

分野別目標

快適環境

快適な環境をつくる

分野別目標

地球環境

地球市民としての意識を育む

戦略目標

市民とともにつくる環境

4 市民，事業者，民間団体，市の基本的役割

望ましい環境像を実現するためには，各主体が，それぞれ自主的な取組を推進するとともに，各主体が協働していくことが欠かせません。

そこで，各主体の役割について，次のとおり基本的な考え方を示します。

市民

市民は，残された貴重な環境をこれからも守り，さらに良い環境を次世代へ伝えるために，より積極的に行動します。

事業者

事業者は，事業活動や廃棄物の処理によって公害が生じないようにするとともに，地域の自然環境や生活環境を積極的に保全します。

民間団体

民間団体は，環境保全活動を実践するとともに，市民，事業者，市の環境保全活動を支援します。

市

市は，市民，事業者，民間団体と協働して，環境に関する施策を策定し，実施します。また，国や他の地方自治体との連携も図ります。

5 計画の期間

本計画の期間は，平成27年度（2015年度）までとします。

平成20年度は，柏市第四次総合計画の実施計画に沿って32事業を重点事業と位置付け，環境マネジメントシステムにより管理しました。また，環境報告書では78項目の事業について進捗状況を報告します。

6 計画の推進体制

計画を円滑かつ効率的に推進するために，柏市環境審議会，庁内組織と市民，事業者，民間団体によって組織される市民ネットワークが中核になり活動していきます。

環境基本計画の構成図

| | 基本目標 | 基本方針 |
|--|--|---|
| 分野別目標 | 自然環境－残された貴重な自然を守る 「豊かで魅力ある自然環境を守り、生物多様性の確保に努めます。」 | 「柏の自然を活かした多様な生物生息空間生態系の保全と復元」 |
| | 生活環境－くらしの中で環境をいたわる 「安全で健康に暮らせる生活環境をつくり、環境への負荷の少ない循環型社会の形成に努めます。」 | 「きれいな手賀沼の再生」 「環境への負荷が少ない社会の形成」 |
| |  | 「安全な生活環境の整備」 |
| | | 「資源循環型社会の形成」 |
| | | 快適環境－快適な環境をつくる 「四季折々のうるおいとやすらぎのある快適環境をつくり、地域に密着した都市景観の整備に努めます。」 |
| 地球環境－地球市民としての意識を育む 「地域環境を守ることが、ひいては地球環境を守ることであるとの意識を持ち、地球市民として、地球温暖化対策、オゾン層の保護、酸性雨対策などの推進に努めます。」 | 「地球環境の保全」  | |
| 戦略目標 | 市民との協働－市民とともにつくる環境 「市民、事業者、民間団体、市が主体的に、良好な環境を保全・創造して、次世代に引き継ぐように努めます。」 | 「市民・事業者の主体的な活動の推進」 |
| |  | 「次世代を担う子どもたち、現世代を支えている人たちへの環境教育の充実」 |
| | | 「県や近隣市町との連携」 |
| | | 「環境基本計画の推進と評価システムの構築」 |

施策の方向性

- ①農地や里山・里地の保全
- ②水辺とその周辺緑地に生息する多様な生態系の保全
- ③多様な生物生息空間の復元・回復
- ④貴重な種の保全

- ①手賀沼の浄化

- ①大気汚染対策の推進
- ②自動車交通対策の推進
- ③有害化学物質の排出抑制
- ④その他生活環境負荷低減の推進

- ①安全なまちづくりの推進
- ②災害に強い都市構造の形成

- ①省資源・省エネルギーの推進
- ②ごみの排出抑制、再利用、資源化の推進
- ③自然の水循環の確保と増進

- ①公園・緑地の整備
- ②身近な水辺の整備
- ③農地や里山・里地の活用
- ④歴史的・文化的資源の保全
- ⑤都市景観への配慮

- ①温室効果ガス排出量の削減
- ②その他地球環境保全対策の推進

- ①市民参加型環境保全事業の推進
- ②市民・事業者による環境を中心としたまちづくりの推進
- ③市民活動の育成・支援
- ④市民ネットワークの確立と拠点整備

- ①学校における環境学習の推進
- ②地域社会における環境学習の推進
- ③環境に関する情報の提供と共有化

- ①県や近隣市町との連携による環境保全対策の推進

- ①総合的な環境行政の推進
- ②環境マネジメントシステムの継続的な運用
- ③年次報告の作成・市民意見の反映

環境基本計画に
掲げるもの

基つき策定されるもの
環境基本計画に

環境配慮指針

重点事業



こんぶくろ池



酒井橋下田の森



粕ビレッジ水辺公園（調整池）



野馬除土手



第2機庫水門

環境基本計画実施事業一覧

網掛けは重点事業

| 基本目標 | 基本方針 | 施策の方向性 | 実施・重点事業 | 事業番号 | ページ |
|-----------------------|------------------------------|--------------------------------|----------------|------|-----|
| 自然環境 残された貴重な自然を守る | 柏の自然を活かした多様な生物生息空間、生態系の保全と復元 | 農地や里山・里地の保全 | 開発事業者への指導 | 1 | 12 |
| | | | 生産緑地の保全 | 2 | 12 |
| | | | 緑地保全事業 | 3 | 12 |
| | | 水辺とその周辺緑地に生息する多様な生態系の保全 | 開発事業者への指導 | 1 | 12 |
| | | | 市場再整備計画の策定 | 59 | 13 |
| | | | 学校ビオトープの整備 | 4 | 13 |
| | | | 増尾城址総合公園整備事業 | 5 | 14 |
| | | 貴重な種の保全 | 開発事業者への指導 | 1 | 12 |
| | | | 自然環境調査 | 6 | 14 |
| | | | こんぶくろ池自然拠点整備事業 | 7 | 14 |
| 生活環境 くらしの中で環境をいたわる | きれいな手賀沼の再生 | 手賀沼の浄化 | 手賀沼を生かしたまちづくり | 8 | 15 |
| | | | 合併処理浄化槽補助事業 | 9 | 16 |
| | | | 水質汚濁に係る規制・指導 | 10 | 16 |
| | | | 水質常時監視 | 11 | 17 |
| | | | 生活排水対策啓発事業 | 12 | 17 |
| | | | 公共下水道の整備 | 13 | 18 |
| | | | 水洗化の普及啓発 | 14 | 18 |
| | | | 大気汚染に係る規制・指導 | 15 | 19 |
| | 大気汚染対策の推進 | 大気常時監視 | 16 | 20 | |
| | | 野焼きの規制 | 17 | 20 | |
| | | 沿道の緑化 | 18 | 21 | |
| | | 自動車交通対策の推進 | アイドリング・ストップの推進 | 19 | 21 |
| | | | 窒素酸化物に係る冬期対策 | 20 | 22 |
| | | | 低公害車の普及促進 | 21 | 23 |
| | 柏駅東口交通改善事業 | | 22 | 24 | |
| | 環境への負荷が少ない社会の形成 | かしわ乗合ジャンボタクシー及びかしわコミュニティーバスの運行 | 23 | 24 | |
| | | 高齢者おでかけ支援事業 | 24 | 24 | |
| | | 有害化学物質の排出抑制 | ダイオキシン類総合対策 | 25 | 25 |
| | | | 土壌汚染対策 | 26 | 25 |
| | | | 地下水汚染対策 | 27 | 26 |
| | | その他生活環境負荷低減の推進 | 地下水採取の規制 | 28 | 26 |
| | 柏市産業廃棄物不適正処理防止条例に基づく規制・指導 | | 29 | 27 | |
| | 埋立事業の規制 | | 30 | 27 | |
| | 騒音・振動・悪臭に係る規制・指導 | | 31 | 27 | |
| | 安全なまちづくりの推進 | | 32 | 28 | |
| | 安全な生活環境の整備 | 歩行空間の確保 | 32 | 28 | |
| | | 災害に強い都市構造の形成 | 33 | 29 | |
| | | 浸水解消事業 | 34 | 29 | |
| | 資源循環型社会の形成 | ごみの分別減量、資源化、再利用の推進 | 一般廃棄物処理基本計画の改訂 | 35 | 30 |
| | | | ごみ減量啓発 | 36 | 30 |
| | | | ごみ減量資源化 | 37 | 31 |
| | | | 園芸用廃プラスチックの処理 | 38 | 31 |
| | | 自然の水循環の確保と増進 | 雨水浸透ます設置補助 | 39 | 31 |
| | | | 湧水の保全 | 40 | 32 |
| | | | 透水性調整池の整備 | 41 | 32 |
| | | | 透水性舗装の整備 | 42 | 32 |

| 基本目標 | 基本方針 | 施策の方向性 | 実施・重点事業 | 事業番号 | ページ |
|---------------------------|----------------------------------|-----------------------|-----------------------------|------|-----|
| 快適環境 快適な環境をつくる | ゆう水、雑木林、農地などを活かした快適環境の整備 | 公園・緑地の整備 | 最終処分場跡地の整備 | 43 | 33 |
| | | | 柏リフレッシュ公園整備事業 | 44 | 33 |
| | | | 南増尾小鳥の森緑地整備事業 | 45 | 34 |
| | | | 戸張地区公園整備事業 | 46 | 34 |
| | | | 南柏駅東口第一公園整備事業 | 47 | 34 |
| | | 農地や里山・里地の活用 | 市民農園の整備 | 48 | 35 |
| | | | 援農システム推進事業 | 49 | 35 |
| | | 歴史的・文化的資源の保全 | 文化財の保護 | 50 | 35 |
| | | 都市景観への配慮 | ぼい捨て防止及び路上喫煙禁止 | 51 | 36 |
| | | | 不法投棄防止の推進 | 52 | 37 |
| 都市景観の形成 | 53 | | 38 | | |
| 地球環境 地球市民としての意識を育む | 地球環境の保全 | 温室効果ガス排出量の削減 | 環境保全協定の締結 | 54 | 39 |
| | | | 柏市地球温暖化対策計画の推進 | 55 | 40 |
| | | | 柏市地球温暖化対策補助 | 56 | 40 |
| | | | 柏市エコアクションプランの推進 | 57 | 41 |
| | | | 屋上・壁面緑化の指導 | 58 | 42 |
| | | | 市場再整備計画の策定 | 59 | 42 |
| | | | 柏市地球温暖化対策条例第8・9条及び配慮指針による指導 | 60 | 42 |
| | | その他地球環境保全対策の推進 | 地球環境保全の啓発 | 61 | 42 |
| 市民との協働 市民とともに つくる環境 | 市民・事業者の主体的な活動の推進 | 市民参加型環境保全事業の推進 | 名戸ヶ谷湧水ビオトープの活用 | 62 | 43 |
| | | | 酒井根下田の森の管理 | 63 | 44 |
| | | 市民活動の育成・支援 | こどもエコクラブの推進 | 64 | 44 |
| | | | 環境活動リーダーの育成 | 65 | 44 |
| | | | ISO認証取得の支援 | 66 | 45 |
| | | 市民ネットワークの確立と拠点整備 | 市民等ネットワークの推進 | 67 | 45 |
| | 次世代を担う子どもたち、現世代を支えている人々への環境教育の充実 | 学校における環境学習の推進 | 学校環境学習の支援 | 68 | 46 |
| | | 地域社会における環境学習の推進 | 環境の月事業 | 69 | 46 |
| | | | 自然環境啓発事業 | 70 | 47 |
| | | 地域環境学習の支援 | 71 | 47 | |
| | 環境に関する情報の提供と共有化 | 環境情報の提供 | 72 | 47 | |
| | 県や近隣市との連携 | 県や近隣市との連携による環境保全対策の推進 | 手賀沼水環境保全協議会 | 73 | 48 |
| | 環境基本計画の推進と評価システムの構築 | 総合的な環境行政の推進 | 環境基本計画の推進 | 74 | 49 |
| | | | 環境基本計画の改訂 | 75 | 49 |
| | | 環境マネジメントシステムの継続的な運用 | 環境マネジメントシステムの推進 | 76 | 50 |
| 年次報告の作成・市民意見の反映 | | 環境白書・年次報告書の作成 | 77 | 50 | |
| | 市民意見の反映 | 78 | 50 | | |

平成20年度実施結果の概要

本計画では、基本目標を達成するための共通した方向性を示す方針として11の基本方針を定め、この基本方針に基づき施策を推進しています。

平成20年度においては、柏市環境基本計画に沿って78項目の事業について取り組み、うち32事業を重点事業と位置付け、環境マネジメントシステムにより進捗管理しました。

基本方針

柏の自然を活かした多様な生物生息空間，生態系の保全と復元

本基本方針では、生物の生息空間や生態系を保全するため、8項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は4事業で、3つの目標値を掲げ、2つの目標を達成しました。

基本方針

きれいな手賀沼の再生

本基本方針では、きれいな手賀沼を再生するため、7項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は4事業で、4つの目標値を掲げ、1つの目標を達成しました。

なお、環境指標の「手賀沼のCOD値（75%値）」は、9.4mg/lから9.4mg/lと横ばいに推移しています。

基本方針

環境への負荷が少ない社会の形成

本基本方針では、大気汚染の防止や有害化学物質の排出抑制などを図るため、17項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は5事業で、3つの目標値を掲げ、2つの目標を達成しました。

基本方針

安全な生活環境の整備

本基本方針では、日常生活の安全性の向上や都市型災害の防止を図るため、3項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は3事業で、5つの目標値を掲げ、1つの目標を達成しました。

基本方針

資源循環型社会の形成

本基本方針では、省資源・省エネルギーの推進やごみの排出抑制・資源化などを図るため、8項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は1事業で、1つの目標値を掲げましたが、目標は達成できませんでした。

基本方針

ゆう水，雑木林，農地などを活かした快適環境の整備

本基本方針では、水辺や緑地の整備，歴史的・文化的資源の保全などを図るため，11項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は8事業で，6つの目標値を掲げ，全ての目標を達成しました。

基本方針

地球環境の保全

本基本方針では、温室効果ガス排出量の削減やその他地球環境保全対策を推進するため、8項目の事業を実施しています。平成20年度の重点事業は5事業で、1つの目標値を掲げ、全ての目標を達成しました。

なお、平成20年度の二酸化炭素等の温室効果ガス排出量（柏市役所で実施する事務事業分）は、30,921,220kg-CO₂で、前年度に比べて3.6%減となっています。

基本方針

市民・事業者の主体的な活動の推進

本基本方針では、市民参加型環境保全事業の推進や市民・事業者の環境保全活動の育成・支援などを図るため、6項目の事業を実施しています。平成20年度の重点事業はなく、目標値もありませんが、適切に実施されています。

基本方針

次世代を担う子どもたち、現世代を支えている人たちへの環境教育の充実

本基本方針では、学校・地域社会における環境学習を推進するとともに、環境に関する情報の提供と共有化を図るため、5項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は1事業で、1つの目標値を掲げ、目標を達成しました。

基本方針

県や近隣市町との連携

本基本方針では、県や近隣市と連携し、広域的な環境問題に取り組むため、1項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は1事業で、目標値はありませんが、適切に実施されています。

基本方針

環境基本計画の推進と評価システムの構築

本基本方針では、環境基本計画を確実に推進し、その結果を的確に評価するシステムを構築するため、5項目の事業を実施しています。うち平成20年度の重点事業は1事業で、目標値はありませんが、適切に実施されています。

実施事業の進捗状況

| | |
|------|---|
| 基本方針 | ・・・基本目標を達成するため、取組を推進していくための基本的な方針 |
| 環境指標 | ・・・基本目標の進捗状況を定量的に把握し、進行管理をしていくため、基本方針ごとに設定された指標 |
| 実施事業 | ・・・基本目標を達成するため、特に取り組むべき施策として位置づけた事業 |
| 重点事業 | ・・・実施事業のうち、柏市第四次総合計画の実施に沿った事業 |
| | 20年度事業費は人件費を含む経費で、全ての項目において事業費を掲載。 _ |

基本目標（分野別目標）

自然環境 - 残された貴重な自然を守る

『豊かで魅力ある自然環境を守り，生物多様性の確保に努めます。』

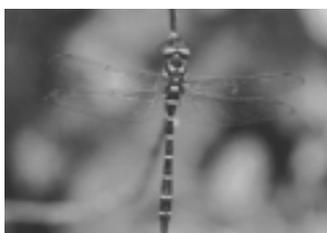
基本方針

柏の自然を活かした多様な生物生息空間，生態系の保全と復元

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 | |
|----|---------------|------------|----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 対策 | シンボルとなる生物の認識率 | 生物の生息空間の保全 | オナガ (平成14年度) | 30.1% (平成22年度) | 65.0% (平成27年度) | 100% (平成27年度) |
| | | | オニヤンマ (平成14年度) | 43.0% (平成22年度) | 55.0% (平成27年度) | 70.0% (平成27年度) |
| | | | キツネノカミソリ (平成14年度) | 22.6% (平成22年度) | 35.0% (平成27年度) | 50.0% (平成27年度) |



オナガ



オニヤンマ



キツネノカミソリ

実施・重点事業の進捗状況（８事業）

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 1 | | |
| 実施事業名 | 開発事業者への指導 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 環境への影響を及ぼすおそれのある宅地開発事業等について、環境配慮指針等の配布等により、事前協議の際に指導する。また、環境配慮報告書の提出を依頼する。 | 実績 | 〔20年度事業費：860千円〕 開発事業者への指導 18年度 76件 19年度 77件 20年度 58件 |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 2 | | |
| 実施事業名 | 生産緑地の保全 | 担当部署 | 都市計画課 |
| 事業内容 | 生産緑地の保全のため、適切な管理の指導及び相続等の事由によって買い取り申し出のあった生産緑地地区について、農業委員会、農業協同組合等に買い取りの斡旋を依頼する。 | 実績 | 〔20年度事業費：602千円〕 生産緑地取得の斡旋 18年度 13件 1.93ha 19年度 15件 2.77ha 20年度 9件 1.34ha |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 3 | | |
| 重点事業名 | 緑地保全事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 市民の生活に必要と認められる緑を保護するため、緑の保護地区、保護樹木を指定する。 | 目標値 | 1. 緑の保護地区面積 78ha 2. 保護樹木本数 209本 |
| | | 実績 | 〔20年度事業費：10,511千円〕 1. 緑の保護地区面積 18年度 78ha 19年度 81ha 20年度 77.2ha 2. 保護樹木本数 18年度 209本 19年度 201本 20年度 199本 【目標未達成の理由】 2 所有者の相続等により保護樹木の解除があった。 |

| | | | |
|-------|---|------------|--|
| No. | 59 | (P42に重複掲載) | |
| 重点事業名 | 市場再整備計画の策定 | 担当部署 | 市場整備課 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 市場再整備に係る自然環境への影響について調査を行うため、平成19年度に引き続き希少猛禽類関連調査を行う。 新市場周辺の環境と共存した整備を実現するため、環境配慮項目を検討する。 | 目標 | 環境に配慮した市場再整備 |
| | | 実績 | [20年度事業費：28,303千円] 1. 自然環境確認調査 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー会議 ・営巣場所確認調査 ・繁殖確認調査 ・食痕調査 ・行動圏調査 2. 環境配慮計画の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮項目の検討 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 4 | | |
| 重点事業名 | 学校ビオトープの整備 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 多様な生き物と触れ合うことができる環境学習や体験の場所として、市内の小学校にビオトープを整備する。 | 目標値 | 学校ビオトープ整備 1校 |
| | | 実績 | [20年度事業費：1,232千円] 学校ビオトープ整備 18年度 1校（増尾西小） 19年度 1校（松葉二小） 20年度 1校（柏八小） |

| | | | |
|-------|--|------|-------|
| No. | 5 | | |
| 実施事業名 | 増尾城址総合公園整備事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 城址と既存の樹林・湧水などを保全し、豊かな自然の中で様々な利用が図れる公園として整備を行う。 | 実績 | 事業休止中 |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 6 | | |
| 実施事業名 | 自然環境調査 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 市内における動植物の生息状況を把握し、将来にわたる環境保全の基礎資料を得ることを目的に、市民、専門家、市の協働で調査を行う。 | 実績 | [20年度事業費：2,167千円] 市内全体調査5回、全体研修16回実施 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 7 | | |
| 重点事業名 | こんぶくろ池自然拠点整備事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 千葉県環境会議の提言等を受けて、湧水、湿性環境及びその周辺の樹林地を保全及び活用し、ヒートアイランド現象の緩和など都市生活環境の向上や動植物の保護・増殖などを目的に、約18.5haのこんぶくろ池公園を整備する。 | 目標値 | 整備率 35% |
| | | 実績 | [20年度事業費：961,014千円] ・整備率 18年度 22.0% 19年度 29.4% 20年度 35.4% |

基本目標（分野別目標）

生活環境 - 暮らしの中で環境をいたわる

『安全で健康に暮らせる生活環境をつくり，環境への負荷の少ない循環型社会の形成に努めます。』

基本方針

きれいな手賀沼の再生

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|------------------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 負荷 | 生活系汚濁負荷量 | 河川の浄化 | 459.9t (平成11年度) | 37.1t (平成22年度) | 30t (平成27年度) |
| 状態 | 手賀沼のCOD値 | 手賀沼の再生 | 13mg/ℓ (平成13年度) | 8mg/ℓ (平成22年度) | 5mg/ℓ (平成27年度) |
| 状態 | 手賀沼の透視度 (根戸下) | 手賀沼の再生 | 25.5cm (平成13年度) | 30cm以上 (平成22年度) | 30cm以上 (平成27年度) |

※手賀沼のCOD値は75%値

実施・重点事業の進捗状況（7事業）

| No. | 8 | |
|-------|--|--|
| 重点事業名 | 手賀沼を生かしたまちづくり | 担当部署 企画調整課 |
| 事業内容 | 柏市，我孫子市で構成する「手賀沼を生かしたまちづくり推進協議会」において，水辺環境の利用促進を図り，身近に手賀沼を感じてもらえるよう，周辺6箇所のステーションにおいて，自転車の貸し出しを行うほか，手賀沼周辺を紹介した地図（手賀マップ）の作成配布を行う。 | 目標値 手賀マップ配布数 600部 |
| | | 実績 [20年度事業費：1,490千円] 手賀マップ配布数 18年度 700部 19年度 700部 20年度 700部 |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 9 | | |
| 重点事業名 | 合併処理浄化槽補助事業 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>公共下水道が整備されていない地域を対象に生活排水対策の一環として、合併処理浄化槽設置の補助制度を設け補助事業を実施する。</p> <p>補助対象は通常型合併処理浄化槽、単独浄化槽からの転換及び窒素・りん等を除去できる高度合併処理浄化槽など。</p> | 目標値 | 補助基数 55基 |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：17,244千円]</p> <p>補助基数</p> <p>18年度 24基</p> <p>19年度 27基</p> <p>20年度 33基</p> <p>【目標未達成の理由】</p> <p>県の補助金の枠内での実施としているため。</p> |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 10 | | |
| 重点事業名 | 水質汚濁に係る規制・指導 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>水質汚濁防止法に基づき、排水規制が適用される施設を立ち入り検査し、排水基準の適合状況の把握、施設管理の徹底等の指導を行う。</p> | 目標値 | 立入検査事業所数 70事業所 |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：7,055千円]</p> <p>立入検査事業所数</p> <p>18年度 78事業所</p> <p>19年度 74事業所</p> <p>20年度 46事業所</p> <p>違反事業所数 11事業所</p> <p>違反率 23.9%</p> <p>【目標未達成の理由】</p> <p>20年度より中核市に移行し、新規業務の対応に時間を費やしたため。</p> |

| No. | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|------|---|------|------|------|------|------|----------|-----|-----|-----|---|----------|-----|-----|-----|---|----------|-----|-----|-----|---|-----------|----|-----|-----|---|
| 実施事業名 | 水質常時監視 | 担当部署 | 環境保全課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <p>水質汚濁防止法に基づき、柏市公共用水域※（大堀川・大津川・手賀沼・下手賀沼）及び地下水（市内15地点）の水質調査を実施する。</p> <p>※手賀沼は千葉県が実施</p> | 実績 | <p>[20年度事業費：6,060千円]</p> <p>・公共用水域の水質</p> <p>(mg/l) ※数値は75%値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水域</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>環境基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手賀沼(COD)</td> <td>9.6</td> <td>9.7</td> <td>9.1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>大堀川(BOD)</td> <td>5.3</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>大津川(BOD)</td> <td>4.3</td> <td>3.8</td> <td>3.6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>下手賀沼(COD)</td> <td>12</td> <td>9.4</td> <td>9.4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地下水汚染調査として、市内15地点の井戸を対象に、カドミウム等環境基準健康項目26項目について調査を実施。</p> | 水域 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 環境基準 | 手賀沼(COD) | 9.6 | 9.7 | 9.1 | 5 | 大堀川(BOD) | 5.3 | 4.2 | 4.2 | 8 | 大津川(BOD) | 4.3 | 3.8 | 3.6 | 5 | 下手賀沼(COD) | 12 | 9.4 | 9.4 | 5 |
| | 水域 | | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 環境基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手賀沼(COD) | 9.6 | 9.7 | 9.1 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大堀川(BOD) | 5.3 | 4.2 | 4.2 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大津川(BOD) | 4.3 | 3.8 | 3.6 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下手賀沼(COD) | 12 | 9.4 | 9.4 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 12 | | |
| 実施事業名 | 生活排水対策啓発事業 | 担当部署 | 環境保全課 消費生活センター |
| 事業内容 | <p>1. 手賀沼船上見学会</p> <p>手賀沼の汚濁を船上から実感してもらい、手賀沼が汚れた理由や改善のための取組、家庭でできる浄化対策等を説明する。</p> <p>2. 洗たくセミナー（小学校の家庭科の授業等で、合成洗剤と石けんの洗い比べやそれぞれの特徴等、実習を交え学ぶ）、石けん普及キャンペーンを実施する。</p> | 実績 | <p>[20年度事業費：2,264千円]</p> <p>1. 船上見学会参加者数</p> <p>18年度 2,382人</p> <p>19年度 2,869人</p> <p>20年度 2,874人</p> <p>2. 洗たくセミナー参加者数</p> <p>18年度 147人</p> <p>19年度 0人</p> <p>20年度 45人</p> <p>石けん配布数</p> <p>18年度 1,220個</p> <p>19年度 855個</p> <p>20年度 474個</p> |

| | | | |
|-------|---------------|------|---|
| No. | 13 | | |
| 重点事業名 | 公共下水道の整備 | 担当部署 | 下水道整備課 |
| 事業内容 | 公共下水道の整備を進める。 | 目標値 | 下水道普及率 87.0% |
| | | 実績 | 〔20年度事業費：2,733,184千円〕 下水道普及率 18年度 85% 19年度 85.6% 20年度 86.4% 【目標未達成の理由】 北部区画整理区域において未供用となったため。 |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 14 | | |
| 実施事業名 | 水洗化の普及啓発 | 担当部署 | 下水道維持管理課 |
| 事業内容 | 公共下水道が供用開始になった地域において、下水道へ未接続の建物の所有者に対し、水洗化普及員が直接訪問又は文書の配布等により下水道への接続を促す。 | 実績 | 〔20年度事業費：9,365千円〕 柏市シルバー人材センターへ水洗化普及事業を委託し、水洗化普及員による啓発を実施。 |

基本方針

環境への負荷が少ない社会の形成

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|----------------------------|----------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 状態 | 浮遊粒子状物質が環境基準を超えた日数 | 公害の防止 (大気) | 11日 (平成13年度) (永楽台測定局) | 5日 (平成22年度) (永楽台測定局) | 0日 (平成27年度) |
| 状態 | 国道6号, 国道16号における騒音の要請限度の適合率 | 公害の防止 (騒音) | 25%(1/4) (平成13年度) | 75%(3/4) (平成22年度) | 100%(4/4) (平成27年度) |
| 対策 | 低公害車普及率 | 公害の防止 (自動車) | 1.1% (平成13年度) | 16% (平成22年度) | 20% (平成27年度) |

実施・重点事業の進捗状況(17事業)

| No. | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|---------------------------------|-----|----|------|------|------|------|------|------|-------|------|--------|------|------|------|-------|------|
| 重点事業名 | 大気汚染に係る規制・指導 | 担当部署 環境保全課 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <p>大気汚染防止法に基づき、大気汚染の原因となるばい煙を発生する施設を立ち入り検査し、排出基準の適合状況を把握、施設管理の徹底等の指導を行う。</p> <p>また、同法に基づき、石綿等が使用されている建築物、工作物等の解体、改造補修作業に対して立ち入りを行い、作業時における基準の遵守状況を確認し、石綿の飛散がないよう指導を行う。</p> | <p>目標値</p> <p>立入検査事業所数 8事業所</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>実績</p> <p>[20年度事業費：403千円]</p> <p>立入検査事業所数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ばい煙</th> <th>石綿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年度</td> <td>6事業所</td> <td>41ヶ所</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>4事業所</td> <td>13ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ばい煙測定</td> <td>4事業所</td> <td>違反1事業所</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>8事業所</td> <td>14ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ばい煙測定</td> <td>7事業所</td> <td>違反なし</td> </tr> </tbody> </table> | | ばい煙 | 石綿 | 18年度 | 6事業所 | 41ヶ所 | 19年度 | 4事業所 | 13ヶ所 | ばい煙測定 | 4事業所 | 違反1事業所 | 20年度 | 8事業所 | 14ヶ所 | ばい煙測定 | 7事業所 |
| | ばい煙 | 石綿 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18年度 | 6事業所 | 41ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19年度 | 4事業所 | 13ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ばい煙測定 | 4事業所 | 違反1事業所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20年度 | 8事業所 | 14ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ばい煙測定 | 7事業所 | 違反なし | | | | | | | | | | | | | | | | |

| No. | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|--|----|-----|-----------------|-----------------|-----|----|-----------------|--------|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|------|---|---|---|---|
| 実施事業名 | 大気常時監視 | 担当部署 環境保全課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 大気汚染防止法に基づき、市内8箇所（柏・永楽台・旭・伊勢原・西原・大室・南増尾・大津ヶ丘）に測定局を設置し、大気の常時監視を行う。 | 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>[20年度事業費：8,020千円]</p> <p>・20年度測定結果 (○適合, ×不適合, -未測定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>測定局</th> <th>SO₂</th> <th>CO</th> <th>SPM</th> <th>Ox</th> <th>NO₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">一般大気環境</td> <td>柏</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>永楽台</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大室</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>南増尾</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">自動車排ガス</td> <td>旭</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>伊勢原</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>西原</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大津ヶ丘</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※SO₂(二酸化硫黄), CO(一酸化炭素), SPM(浮遊粒子状物質), Ox(光化学オキシダント), NO₂(二酸化窒素)</p> | 区分 | 測定局 | SO ₂ | CO | SPM | Ox | NO ₂ | 一般大気環境 | 柏 | ○ | - | ○ | - | ○ | 永楽台 | ○ | - | ○ | × | ○ | 大室 | - | - | ○ | × | ○ | 南増尾 | - | - | ○ | × | ○ | 自動車排ガス | 旭 | - | ○ | - | - | ○ | 伊勢原 | - | - | ○ | - | ○ | 西原 | - | - | ○ | - | ○ | 大津ヶ丘 | - | ○ | ○ | - |
| 区分 | 測定局 | SO ₂ | CO | SPM | Ox | NO ₂ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般大気環境 | 柏 | ○ | - | ○ | - | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 永楽台 | ○ | - | ○ | × | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 大室 | - | - | ○ | × | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 南増尾 | - | - | ○ | × | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自動車排ガス | 旭 | - | ○ | - | - | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 伊勢原 | - | - | ○ | - | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 西原 | - | - | ○ | - | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 大津ヶ丘 | - | ○ | ○ | - | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|-------|--|--|
| No. | 17 | |
| 実施事業名 | 野焼きの規制 | 担当部署 環境保全課 |
| 事業内容 | 柏市ダイオキシン類発生抑制条例に基づき、焼却炉設置者への指導及び野焼き行為者への指導を行う。 | 実績 |
| | | <p>[20年度事業費：860千円]</p> <p>継続苦情件数 18年度 0件 19年度 1件 20年度 1件</p> |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 18 | | |
| 実施事業名 | 沿道の緑化 | 担当部署 | 道路整備課 |
| 事業内容 | <p>自動車の排気ガスによる大気汚染など沿道の生活環境への配慮や、歩道通行者が四季を感じられ、安らぎを得られるような良好な道路空間整備の一環として、歩道内に植栽を行う。</p> | 実績 | <p>[20年度事業費：0千円]</p> <p>沿道の緑化 18年度 6路線 19年度 0路線 20年度 0路線</p> |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 19 | | |
| 実施事業名 | アイドリング・ストップの推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>12月の地球温暖化防止月間に、大気汚染の原因となる自動車の排出ガス抑制のための啓発活動を実施する。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断幕の設置 ・広報での啓発 など | 実績 | <p>[20年度事業費：58千円]</p> <p>横断幕の掲出 18年度 4箇所 19年度 4箇所 20年度 4箇所 期間12/1～26</p> |

| | | | |
|-------|--|----|---|
| No. | 20 | | |
| 実施事業名 | 窒素酸化物に係る冬期対策 | | 担当部署 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>大気汚染物質が拡散しにくく、大気汚染が進行しやすい冬期に、窒素酸化物排出抑制対策として、毎週水曜日をノーカーデーとし、公用車の使用を抑制してきたが、近年、大気中の二酸化炭素濃度の曜日による変動が小さくなる傾向にあることから、今後は対策実施期間（11月から翌年1月まで）を通した排出低減対策として下記の冬季期間を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ばい煙発生施設等に係る対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 適正な燃焼管理及び良質燃料の使用 (2) 低い暖房温度の設定 2. 自動車の使用抑制対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 業務用車両の使用抑制 (2) アイドリングストップの実施 (3) 八都県市指定低公害車・最新規制適合車の優先利用 (4) 職員の自家用車による通勤自粛 | 実績 | <p>[20年度事業費：0千円]</p> <p>事業内容について、事業所に文書にて協力を依頼。</p> |

| No. | 21 | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|----|---|--------------|----|----|---------|----|-----------|----|------------------------|----|---|----|
| 重点事業名 | 低公害車の普及促進 | | 担当部署 | 環境保全課 全部署 | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 1. 公用車の低公害車化 | 目 | 補助台数 | | | | | | | | | | | |
| | 2. 地球温暖化対策補助制度 (低公害車分) | 標 | 天然ガス自動車 | 7台 | | | | | | | | | | |
| | 天然ガス自動車またはハイブリッド自動車を導入する費用の一部を補助する。 | 値 | ハイブリッド自動車 | 80台 | | | | | | | | | | |
| | ・対象車種 | 実績 | 〔20年度事業費：51,994千円〕 | | | | | | | | | | | |
| | 天然ガス自動車, ハイブリッド自動車 (マイルドハイブリッド自動車を除く) | | 1. 公用車の低公害車導入率 | | | | | | | | | | | |
| | ※中古車を除く | | 18年度 | 9.8% | | | | | | | | | | |
| | ・補助金額 | | 19年度 | 12.9% | | | | | | | | | | |
| | 天然ガス自動車 7万円 | | 20年度 | 15.6% | | | | | | | | | | |
| | ハイブリッド自動車 2万円 | | 内訳 | | | | | | | | | | | |
| | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>車種</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ガス自動車</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド自動車</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>低燃費かつ低排出ガス(四ツ星)ガソリン自動車</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> | | 車種 | 台数 | 天然ガス自動車 | 48 | ハイブリッド自動車 | 11 | 低燃費かつ低排出ガス(四ツ星)ガソリン自動車 | 29 | 計 | 88 |
| 車種 | 台数 | | | | | | | | | | | | | |
| 天然ガス自動車 | 48 | | | | | | | | | | | | | |
| ハイブリッド自動車 | 11 | | | | | | | | | | | | | |
| 低燃費かつ低排出ガス(四ツ星)ガソリン自動車 | 29 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 88 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 2. 補助台数 | | | | | | | | | | | |
| | | | 20年度 天然ガス自動車 | 4台 | | | | | | | | | | |
| | | | ハイブリッド自動車 | 50台 | | | | | | | | | | |
| | | | 【目標未達成の理由】 | | | | | | | | | | | |
| | | | 2. 申請件数が当初見込みより少なかったため。 | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 22 | | |
| 実施事業名 | 柏駅東口交通改善事業 | 担当部署 | 交通政策課 |
| 事業内容 | 柏駅東口における休日の路線バスの駅前乗り入れに向けた課題・方策等の検討を行い、自家用車から公共交通機関への転換を図る。 | 実績 | 〔20年度事業費：2,204千円〕 18年度 共同荷捌き場の本格稼働 19年度 柏駅前商店会との協議 20年度 柏駅東口への休日バス乗入れ実証実験を実施 |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 23 | | |
| 重点事業名 | かしわ乗合ジャンボタクシー及びかしわコミュニティーバスの運行 | 担当部署 | 交通政策課 |
| 事業内容 | 市内の公共交通空白・不便地域の解消、路線バスの廃止代替機能、公共施設への移動手段として、主に自家用車を利用しない方の日中の移動方法を確保することを目的に、市の支援により運行する。 | 実績 | 〔20年度事業費：43,319千円〕 ・かしわジャンボタクシー 19年度 高柳・金山コース運行開始 20年度 事業継続 ・かしわコミュニティーバス 19年度 岩井コース、若白毛コース運行開始 20年度 事業継続 |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 24 | | |
| 重点事業名 | 高齢者おでかけ支援事業 | 担当部署 | 交通政策課 |
| 事業内容 | 市内にある3つの自動車教習所の協力により、教習生のために運行している送迎バスに生じた空席を活用して、高齢者の外出を支援する。 | 実績 | 〔20年度事業費：3,440千円〕 19年度 高齢者を対象とした乗合事業実施に向けての準備 20年度 高齢者おでかけ支援事業試行（1年間）開始 |

| No. | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------|---|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|---------|---|---|---|---------|---|---|---|----------|---|---|---|-----------|---|---|---|----------|---|---|---|--------|---|---|---|---------|---|---|---|--------|---|---|---|-------|---|---|---|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|----------|
| 実施事業名 | ダイオキシン類総合対策 | 担当部署 | 環境保全課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | ダイオキシン類対策特別措置法及び柏市ダイオキシン類発生抑制条例に基づき、市内で発生するダイオキシン類の発生抑制と削減を図るため、施設の整備や焼却行為の規制・指導及び事業所への立入といった総合対策を推進する。 | 実績 | 〔20年度事業費：5,502千円〕 (pg-TEQ/m ³) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>環境基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大室測定局</td> <td>0.087</td> <td>0.060</td> <td>0.053</td> <td rowspan="15">0.6</td> </tr> <tr> <td>永楽台測定局</td> <td>0.091</td> <td>0.050</td> <td>0.047</td> </tr> <tr> <td>旭測定局</td> <td>0.083</td> <td>0.068</td> <td>0.049</td> </tr> <tr> <td>増尾(私有地)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>逆井(宮田島)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>豊四季(私有地)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>山高野浄化センター</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>富里近隣センター</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>南尊君測定局</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大津ヶ丘測定局</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>手賀東小学校</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高柳小学校</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大津ヶ丘第一小学校</td> <td>0.077</td> <td>0.062</td> <td>0.064</td> </tr> <tr> <td>高柳西小学校</td> <td>0.093</td> <td>0.064</td> <td>0.071</td> </tr> <tr> <td>藤谷浄化センター</td> <td>0.094</td> <td>0.098</td> <td>0.064</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年4回実施の平均値</p> | 調査地点 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 環境基準 | 大室測定局 | 0.087 | 0.060 | 0.053 | 0.6 | 永楽台測定局 | 0.091 | 0.050 | 0.047 | 旭測定局 | 0.083 | 0.068 | 0.049 | 増尾(私有地) | — | — | — | 逆井(宮田島) | — | — | — | 豊四季(私有地) | — | — | — | 山高野浄化センター | — | — | — | 富里近隣センター | — | — | — | 南尊君測定局 | — | — | — | 大津ヶ丘測定局 | — | — | — | 手賀東小学校 | — | — | — | 高柳小学校 | — | — | — | 大津ヶ丘第一小学校 | 0.077 | 0.062 | 0.064 | 高柳西小学校 | 0.093 | 0.064 | 0.071 | 藤谷浄化センター |
| 調査地点 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 環境基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大室測定局 | 0.087 | 0.060 | 0.053 | 0.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 永楽台測定局 | 0.091 | 0.050 | 0.047 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭測定局 | 0.083 | 0.068 | 0.049 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 増尾(私有地) | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 逆井(宮田島) | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 豊四季(私有地) | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山高野浄化センター | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富里近隣センター | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南尊君測定局 | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大津ヶ丘測定局 | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手賀東小学校 | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高柳小学校 | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大津ヶ丘第一小学校 | 0.077 | 0.062 | 0.064 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高柳西小学校 | 0.093 | 0.064 | 0.071 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 藤谷浄化センター | 0.094 | 0.098 | 0.064 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 26 | | |
| 実施事業名 | 土壌汚染対策 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 土壌汚染対策法に基づき、水質汚濁防止法及び下水道法の有害物質使用特定施設の廃止時に、有害物質による土壌汚染が発見された場合、指定区域を定め、土壌の浄化対策を推進する。 | 実績 | 〔20年度事業費：3,585千円〕 指定区域（平成21年3月31日現在） |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市花野井627-24の一部他 (5,266.0m²) ・ 柏市布施字廻り作台1121番1の一部他 (9,407.05m²) |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 27 | | |
| 実施事業名 | 地下水汚染対策 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 地下水汚染が確認された地区に、汚染の拡大防止と汚染物質の除去を目的として、除去装置を設置運営する。 | 実績 | 〔20年度事業費：8,935千円〕 地下水汚染物質の除去 4地区5箇所 ①十余二・若柴地区 ②大青田地区 ③塚崎地区 ④大島田地区 |

| No. | 28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|------|---|----|-----------------------|-----|------------|------|-----------|------|-----------|------|-----------|-----|---------|----|------------|-------|--------|
| 実施事業名 | 地下水採取の規制 | 担当部署 | 環境保全課 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 千葉県環境保全条例及び柏市環境保全条例に基づき、一定規模の揚水施設を持つものに対して、地下水採取の規制を行い、地盤沈下対策を推進する。 | 実績 | 〔20年度事業費：1,720千円〕 地下水揚水量 18年 24,158,104 m ³ 19年 23,352,262 m ³ 20年 20,582,918 m ³ <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>揚水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲料水</td> <td>12,503,764</td> </tr> <tr> <td>工業用水</td> <td>3,499,149</td> </tr> <tr> <td>ビル用水</td> <td>1,204,028</td> </tr> <tr> <td>農業用水</td> <td>3,057,776</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>318,201</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,582,918</td> </tr> <tr> <td>1日当たり</td> <td>56,391</td> </tr> </tbody> </table> | 用途 | 揚水量 (m ³) | 飲料水 | 12,503,764 | 工業用水 | 3,499,149 | ビル用水 | 1,204,028 | 農業用水 | 3,057,776 | その他 | 318,201 | 合計 | 20,582,918 | 1日当たり | 56,391 |
| 用途 | 揚水量 (m ³) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飲料水 | 12,503,764 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工業用水 | 3,499,149 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ビル用水 | 1,204,028 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業用水 | 3,057,776 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 318,201 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 20,582,918 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日当たり | 56,391 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|--------------------------------------|------|---|
| No. | 29 | | |
| 重点事業名 | 柏市産業廃棄物不適正処理防止条例に基づく 規制・指導 | 担当部署 | 産業廃棄物対策課 |
| 事業内容 | 柏市産業廃棄物不適正処理防止条例に基づく立入検査・パトロールを実施する。 | 目標値 | 立入検査等の実施日数：199日 |
| | | 実績 | [20年度事業費：9,728千円] 立入検査・パトロールの実施 延べ日数 199日 |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 30 | | |
| 実施事業名 | 埋立事業の規制 | 担当部署 | 産業廃棄物対策課 |
| 事業内容 | 柏市土砂等埋立て等規制条例に基づき、埋立事業の監視・指導を行い、無秩序な埋め立てによる土砂の崩落や土壌の汚染を防止する。 | 実績 | [20年度事業費：17,398千円] 埋立事業許可件数 18年度 43件 19年度 62件 20年度 21件 |
| | | | |

| | | | |
|-------|-----------------------------------|------|---|
| No. | 31 | | |
| 実施事業名 | 騒音・振動・悪臭に係る規制・指導 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 柏市環境保全条例に基づき、騒音・振動・悪臭に係る規制・指導を行う。 | 実績 | [20年度事業費：860千円] 継続苦情件数 18年度 5件 19年度 2件 20年度 2件 |
| | | | |

基本方針

安全な生活環境の整備

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|--------------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 対策 | 広域避難場所 の数 | 防災の充実 | 3ヶ所 (平成13年度) | 4ヶ所 (平成22年度) | 4ヶ所 (平成27年度) |

実施・重点事業の進捗状況（3事業）

| No. | 32 | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|------|--|------|------|------|------|------|------|------|----------|------|--------|
| 重点事業名 | 歩行空間の確保 | 担当部署 | 道路維持管理課 交通施設課 道路整備課 新市道路整備課 | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <p>1. 看板等の道路不法占有物の撤去指導 市管理の道路上を不法に占有している看板等について、設置者に対して撤去を指導し、歩行空間の確保を図る。</p> <p>2. 放置自転車の撤去等 放置禁止区域内の放置自転車の撤去や街頭指導員による啓発活動を実施し、放置自転車の削減を図る。</p> <p>3. 歩道の整備 通学児童やお年寄り等が安全に安心して通行できるよう、道路の整備を軸に歩道の整備を行う。また、より良好な道路空間の整備を行う。</p> | 目標値 | <p>2. 1日当たりの放置台数1,000台以下</p> <p>3. 歩道の整備1,533m</p> | | | | | | | | | | |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：574,648千円]</p> <p>1. 市民からの通報や道路パトロールにより、随時撤去及び指導を実施</p> <p>2. 放置自転車の撤去を実施 放置台数(1日あたり、午後3時時点)</p> <table border="1"> <tr> <td>18年度</td> <td>726台</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>546台</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>503台</td> </tr> </table> <p>3. 歩道の整備</p> <table border="1"> <tr> <td>18年度</td> <td>3,887.7m</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>320.0m</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>1,115.0m</td> </tr> </table> <p>【目標未達成の理由】</p> <p>3. 工事発注したものの繰越等により完成しなかったため。</p> | 18年度 | 726台 | 19年度 | 546台 | 20年度 | 503台 | 18年度 | 3,887.7m | 19年度 | 320.0m |
| 18年度 | 726台 | | | | | | | | | | | | |
| 19年度 | 546台 | | | | | | | | | | | | |
| 20年度 | 503台 | | | | | | | | | | | | |
| 18年度 | 3,887.7m | | | | | | | | | | | | |
| 19年度 | 320.0m | | | | | | | | | | | | |
| 20年度 | 1,115.0m | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 33 | | |
| 重点事業名 | 自主防災組織の拡充 | 担当部署 | 防災安全課 |
| 事業内容 | 「隣保共同の精神」に基づき、防災訓練、防災講話等を通じて、自発的な防災組織の設立拡充を図る。 | 目標値 | 自主防災組織数 191組織 |
| | | 実績 | 〔20年度事業費：22,867千円〕 自主防災組織数 18年度 178組織 19年度 182組織 20年度 184組織 【目標未達成の理由】 各町会・自治会に対し講習会等を通じて啓発活動を行ってきたが、組織化をするにあたり準備を要するため。 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 34 | | |
| 重点事業名 | 浸水解消事業 | 担当部署 | 排水対策課 |
| 事業内容 | 浸水被害軽減のため、公共下水道の雨水幹線整備に長期間を要する地域を中心に、浸水、冠水対策として雨水排水施設を整備する。 | 目標値 | 1. 雨水管の整備 160m 2. 水路の整備 240m |
| | | 実績 | 〔20年度事業費：88,265千円〕 1. 雨水管の整備 18年度 220.8m 19年度 38.5m 20年度 109.9m 2. 水路の整備 18年度 742.0m 19年度 1,080.0m 20年度 196.8m 【目標未達成の理由】 1. 要望の多い水路整備を重点的に実施したため。 |

基本方針

資源循環型社会の形成

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|----------|--------|-------------------|-----------------|-----------------|
| 対策 | ごみ量発生抑制率 | 廃棄物の削減 | — | 2% (平成22年度) | 2% (平成27年度) |
| 対策 | 資源化率 | 資源の循環 | 30.4% (平成13年度) | 32% (平成22年度) | 35% (平成27年度) |

実施・重点事業の進捗状況（8事業）

| No. | 35 | | | |
|-------|--|----|---|--------|
| 実施事業名 | 一般廃棄物処理基本計画の改訂 | | 担当部署 | 廃棄物政策課 |
| 事業内容 | 平成17年度の第二清掃工場稼働並びに沼南町との市町合併に基づき、清掃事業の体制を一部変更した。これに基づき、平成22年3月に現行の一般廃棄物処理基本計画を改訂する。 | 実績 | [20年度事業費：22,200千円] 15年度 基本構想を策定 16年度 一般廃棄物処理基本計画を改訂 | |

| No. | 36 | | | |
|-------|--|----|---|--------|
| 実施事業名 | ごみ減量啓発 | | 担当部署 | 廃棄物政策課 |
| 事業内容 | ごみ減量啓発として次の事業を実施 1. 清掃施設見学会 市内ごみ処理施設等の見学会を、主に町会等の市民団体を対象に実施する。 2. ごみ減量説明会 町会等に出向き、ごみの分別・減量資源化に関する説明をする。 3. ごみ減量広報紙によるPR 年2回、ごみ減量広報紙を発行することにより、ごみ減量についてPRを行う。 | 実績 | [20年度事業費：19,664千円] 1. 清掃施設見学会 18年度 41回 19年度 37回 20年度 36回 2. ごみ減量説明会 18年度 6回 19年度 6回 20年度 4回 | |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 37 | | |
| 重点事業名 | ごみ減量資源化 | 担当部署 | 廃棄物政策課 |
| 事業内容 | ごみ減量資源化啓発として次の事業を実施 1. 資源回収事業 家庭から排出される古紙・ビン・金属等の資源品を月2回収する。 2. 生ごみ処理容器購入補助 家庭から排出される生ごみの減量を目的に、生ごみ処理容器の購入価格のコンポスト・EM容器は1/2, 機械式は1/3(上限1万円)を補助する。 | 目標値 | 生ごみ処理容器購入補助基数 600基 |
| | | 実績 | [20年度事業費: 681,437千円] 生ごみ処理容器購入補助基数 18年度 309基 19年度 284基 20年度 270基 【目標未達成の理由】 申請件数が見込みより少なかったため。 |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 38 | | |
| 実施事業名 | 園芸用廃プラスチックの処理 | 担当部署 | 農政課 |
| 事業内容 | 柏市園芸用廃プラスチック対策協議会では、市内の農業協同組合をとおして農業用の生産に利用した廃プラスチック類を回収、専門処理業者に処理を委託し、リサイクル等を実施。市内の農家から廃棄される園芸用廃プラスチック類の適性処理を推進する。 | 実績 | [20年度事業費: 1,944千円] 18年度 リサイクル率100% 19年度 リサイクル率100% 20年度 リサイクル率100% |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 39 | | |
| 実施事業名 | 雨水浸透ます設置補助 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 雨水を地下に浸透させる「雨水浸透ます」の設置費用を補助する。 ・補助金の額=1基あたりの設置費用×1/2×設置基数 ・1基あたり15,000円限度 ・建築面積により最大3基まで | 実績 | [20年度事業費: 204千円] 補助基数 18年度 12基 19年度 12基 20年度 5基 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 40 | | |
| 実施事業名 | 湧水の保全 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 市内にある5ヶ所の湧水（名戸ヶ谷・新利根・駒込・寺谷ツ・戸張）の周辺の維持管理を行う。 | 実績 | 〔20年度事業費：135千円〕 草刈り 6, 8, 10, 12月に実施 清掃 6, 8, 10, 12月に実施 |

| | | | |
|-------|--|------|---------------|
| No. | 41 | | |
| 実施事業名 | 透水性調整池の整備 | 担当部署 | 下水道整備課 |
| 事業内容 | 大津川左岸第6号雨水幹線流域の道路及び耕作地の冠水・浸水解消のため、雨水流出を抑制する調整池を整備する。 | 実績 | 〔20年度事業費：0千円〕 |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 42 | | |
| 実施事業名 | 透水性舗装の整備 | 担当部署 | 全部署 |
| 事業内容 | 雨水の地下浸透促進のため、道路や市が管理する施設の駐車場等に透水性舗装の整備をする。 | 実績 | 〔20年度事業費：0千円〕 整備率 18年度 100% 19年度 100% 20年度 100% ※各年度とも車道を除く |

基本目標（分野別目標）

快適環境 - 快適な環境をつくる

『四季折々のうるおいとやすらぎのある快適環境をつくり，地域に密着した都市景観の整備に努めます。』

基本方針

ゆう水，雑木林，農地などを活かした快適環境の整備

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|------------|---------|--------------------|------------------|-------------------|
| 対策 | 一人当たりの公園面積 | 都市緑地の充実 | 3.9㎡/人 (平成13年度) | 5㎡/人 (平成22年度) | 10㎡/人 (平成27年度) |

実施・重点事業の進捗状況（11事業）

| No. | 43 | | |
|-------|---|------|--|
| 重点事業名 | 最終処分場跡地の整備 | 担当部署 | 廃棄物政策課 |
| 事業内容 | 一般廃棄物最終処分場跡地の有効活用を図るため，地元住民等の意見・要望を踏まえ，緑地や広場を主体とした公園として整備を行う。 | 目標値 | 整備率 100% |
| | | 実績 | [20年度事業費：31,676千円] 18年度 整備工事 19年度 整備工事（整備率80%） 20年度 整備工事（整備率100%） |

| No. | 44 | | |
|-------|--|------|---|
| 重点事業名 | 柏リフレッシュ公園整備事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 広域の緑の拠点としてコミュニティ施設や健康運動広場，里山体感ゾーン，樹林観察ゾーン等を備えた，柏リフレッシュ公園を整備する。 | 目標値 | 公園整備率 42% |
| | | 実績 | [20年度事業費：228,134千円] 整備率 18年度 26% 19年度 35% 20年度 42% |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 45 | | |
| 重点事業名 | 南増尾小鳥の森緑地整備事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 南増尾小鳥の森緑地約0.75haを買収し、雑木林などを活かした快適な緑地を整備する。 | 目標値 | 用地取得率 100% |
| | | 実績 | [20年度事業費：134,012千円] 用地取得率 18年度 73% 19年度 87% 20年度 整備完了 |

| | | | |
|-------|---------------------------------------|------|--|
| No. | 46 | | |
| 重点事業名 | 戸張地区公園整備事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 貴重なスダジイ群を保存し、手賀沼・大津川の流域が眺望できる施設整備を行う。 | 目標値 | 整備率 100% |
| | | 実績 | [20年度事業費：42,747千円] 用地取得率 18年度 95% 19年度 100% 20年度 整備完了 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 47 | | |
| 重点事業名 | 南柏駅東口第一公園整備事業 | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 南柏駅東口土地区画整理事業にて生み出された公園用地を、近隣住民が集える空間に整備する。 | 目標値 | 整備率 100% |
| | | 実績 | [20年度事業費：16,590千円] 整備率 19年度 100% 20年度 整備完了 |

| | | |
|-------|---|-------------------|
| No. | 48 | |
| 重点事業名 | 市民農園の整備 | 担当部署 農政課 |
| 事業内容 | 農家との交流を通じて農業への理解を深めていくことを目的に、市民農園などの農業施設の整備を図る。 | 目標 |
| | | 実績 |
| | | 市民農園の整備 |
| | | [20年度事業費：4,401千円] |
| | | 市民農園の整備 18年度 0区画 |
| | | 19年度 0区画 |
| | | 20年度 0区画 |

| | | |
|-------|---|-------------------|
| No. | 49 | |
| 実施事業名 | 援農システム推進事業 | 担当部署 農政課 |
| 事業内容 | 人々の活力を農業ボランティア等として活かした援農システムを推進するため、農業ボランティア育成講座を実施し育成等を図る。 | 実績 |
| | | |
| | | [20年度事業費：1,788千円] |
| | | 農業ボランティアの養成 |
| | | 18年度 7人 |
| | | 19年度 13人 |
| | | 20年度 0人 |

| | | |
|-------|---------------------------|-------------------|
| No. | 50 | |
| 実施事業名 | 文化財の保護 | 担当部署 文化課 |
| 事業内容 | カタクリ群生地等の文化財用地の維持管理を実施した。 | 実績 |
| | | |
| | | [20年度事業費：1,740千円] |
| | | 18, 19, 20年度 |
| | | 植生管理の指針に基づき、維持管理 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 51 | | |
| 重点事業名 | ばい捨て防止及び路上喫煙禁止 | 担当部署 | 環境サービス課 |
| 事業内容 | <p>1. ばい捨て防止キャンペーンを兼ねた清掃活動を機会をとらえて実施する。</p> <p>2. ばい捨て防止の啓発事業として、市のイベントに参加する。</p> <p>3. 柏市ばい捨て及び違反ごみ出し防止条例を改正し、たばこのばい捨てにつながる路上喫煙を禁止するとともに、路上喫煙を防止するためのキャンペーン等を実施する。</p> <p>4. 柏駅周辺の禁煙等強化区域において、違反者に対し、過料の徴収を実施するとともに、柏市内各駅において啓発を兼ねたパトロールを実施する。</p> | 目標 | ばい捨て防止・路上喫煙の禁止 |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：11,525千円]</p> <p>1. 清掃活動 18年度 月1回 19年度 月1回 20年度 月1回</p> <p>2. 18, 19年度 手賀沼ふれあいウォークでキャンペーンを実施</p> <p>3. 18年度 柏駅周辺等において条例施行(1周年)キャンペーンの実施, ばい捨てポスターの配布 19年度 柏市内8駅において路上喫煙防止早朝キャンペーンの実施 20年度 柏駅・柏の葉キャンパス駅において, 路上喫煙防止早朝キャンペーンの実施</p> <p>4. 18年度 過料件数 698件 19年度 過料件数 399件 20年度 過料件数 266件</p> |

| | | |
|-------|--|--|
| No. | 52 | |
| 実施事業名 | 不法投棄防止の推進 | 担当部署 環境サービス課 |
| 事業内容 | <p>1. ごみはごみを呼ぶことから、不法投棄の通報を受け、速やかに収集対応し、捨てられ難い環境づくりに努める。そのため、不法投棄の場所となっている所を定期的にパトロール、清掃を実施する。</p> <p>2. 旧柏、沼南地区において、不法投棄の温床になっているところの特別回収を実施する。</p> <p>3. 旧柏、沼南地区の不法投棄常習地区に不法投棄防止カメラを設置し、不法投棄の抑止に努める。</p> | <p>〔20年度事業費：13,218千円〕</p> <p>1. パトロール</p> <p>18年度 週1回及び通報時 夜間パトロール年14回</p> <p>19年度 早朝特別パトロール実施。 市内不法投棄常習地区に不法投棄防止カメラ設置（5箇所）</p> <p>20年度 週1回及び通報時特別パトロール(夜間含む)年10回</p> <p>2. 特別回収</p> <p>18年度 旧柏地区2箇所において実施</p> <p>19年度 柏地区2箇所において実施</p> <p>20年度 旧柏・旧沼南地区において各1箇所実施</p> <p>3. 不法投棄防止カメラ</p> <p>19年度 市内の不法投棄常習地区に防止カメラを設置</p> <p>20年度 常習地区の防止カメラによる監視とカメラの管理を継続中</p> |



| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 53 | | |
| 重点事業名 | 都市景観の形成 | 担当部署 | 都市計画課 |
| 事業内容 | <p>1. 優れた都市景観を創り，又は保全する必要があると認める地区を景観重点地区に指定し，景観形成基準を定め，届出により景観誘導を行う。</p> <p>2. 景観形成上重要な役割を果たす大規模建築物等については，誘導基準に基づき，届出を求め，景観誘導を行う。</p> | 目標値 | 1. 柏の葉1地区 |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：7,740千円]</p> <p>1. 18年度 柏の葉一丁目及び柏の葉三丁目を重点地区に指定</p> <p>19年度 柏の葉三丁目第2地区を重点地区に指定</p> <p>20年度 柏の葉キャンパス駅周辺の重点地区を拡大</p> <p>2. 大規模建築物届出件数</p> <p>18年度 126件</p> <p>19年度 95件</p> <p>20年度 97件</p> |

基本目標（分野別目標）

地球環境 - 地球市民としての意識を育む

『地域環境を守ることが、ひいては地球環境を守ることであるとの意識を持ち、地球市民として、地球温暖化対策、オゾン層の保護、酸性雨対策などの推進に努めます。』

基本方針

地球環境の保全

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|----------|------------|--|--|---|
| 負荷 | 二酸化炭素排出量 | 地球温暖化対策の推進 | 1,787,560t-CO ₂ (平成12年度) | 1,680,000t-CO ₂ (5%削減) (平成22年度) | 1,600,000t-CO ₂ (10%削減) (平成27年度) |
| 状態 | 雨水の酸性度 | 酸性雨対策の推進 | pH4.8 (平成12年度) | pH5.0 (平成22年度) | pH5.6 (平成27年度) |

実施事業の進捗状況（8事業）

| No. | 54 | |
|-------|---|---|
| 実施事業名 | 環境保全協定の締結 | 担当部署 環境保全課 |
| 事業内容 | 市と事業者が連携を図りながら環境に優しいまちづくりを推進していくため、事業活動における環境配慮の取組等を定めた環境保全協定を、市内の事業者と締結していく。 | 実績 〔20年度事業費：2,580千円〕 環境保全協定の締結 18年度 2事業所 19年度 2事業所 20年度 0事業所 (合計100事業所) |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 55 | | |
| 重点事業名 | 柏市地球温暖化対策計画の推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 平成20年3月に策定した地球温暖化対策計画の実効性を確保するため、環境配慮報告書制度や省CO ₂ まちづくりガイドライン等の基本事項について調査・検討を実施した。 | 目標 | 計画の推進 |
| | | 実績 | [20年度事業費：4,575千円] 調査委員会を設け、低炭素まちづくりが目指すべき方向性、実現に向けて留意すべき課題、課題解決のポイント、調査実施における配慮事項等について議論、検討した。 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 56 | | |
| 重点事業名 | 柏市地球温暖化対策補助 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 住宅用地球温暖化対策機器、低公害車及びアイドリングストップ装置の導入費用の一部を補助する。 ・補助金額 住宅用太陽光発電システム 1kwあたり1万円（上限3万円） 住太陽熱利用機器 2万円 ヒートポンプ給湯器 2万円 ガスエンジン給湯器 2万円 天然ガス自動車 7万円 ハイブリッド自動車 2万円 アイドリングストップ装置 1万円 | 目標値 | 補助件数 ・住宅用太陽光発電システム 70件 ・太陽熱利用機器 25件 ・ヒートポンプ給湯器 83件 ・ガスエンジン給湯器 82件 ・天然ガス自動車 7台 ・ハイブリッド自動車 80台 ・アイドリングストップ装置 51台 |
| | | 実績 | [20年度事業費：10,380千円] 補助件数 ・住宅用太陽光発電システム 90件 ・太陽熱利用機器 5件 ・ヒートポンプ給湯器 137件 ・ガスエンジン給湯器 67件 ・天然ガス自動車 4台 ・ハイブリッド自動車 50台 ・アイドリングストップ装置 0台 |

| | | | |
|-------|---|--------|---|
| No. | 57 | | |
| 重点事業名 | 柏市エコアクションプランの推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>柏市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、温室効果ガス排出量削減を目標とした柏市エコアクションプランを平成12年度から取り組み、柏市エコアクションプラン（第2期）を平成19年5月に改訂しましたが、より一層の温室効果ガス排出量の削減を目指し、職員による省エネ行動の強化に加え、市保有施設・設備への新エネルギー・省エネルギー対策を積極的に導入する新柏市エコアクションプランを平成20年4月に新たに策定しました。</p> | 目 標 | <p>温室効果ガス排出量（CO₂量）を平成19年度実績値を基準として、平成24年度までに20%以上削減する。</p> |
| | <p>[計画目標]</p> <p>温室効果ガス排出量（CO₂量）を平成19年度実績値を基準として、平成24年度までに20%以上削減します。</p> | | 実 績 |

| | | | | |
|-------|--|----|---|-------|
| No. | 58 | | | |
| 実施事業名 | 屋上・壁面緑化の指導 | | 担当部署 | 公園緑政課 |
| 事業内容 | 開発行為等において緑化指導するうえで、市街地における緑化啓蒙を図るため屋上・壁面緑化を含めた指導をする。 | 実績 | 〔20年度事業費：6,482千円〕 緑地面積確保のため、開発行為等において屋上・壁面緑化等の指導を実施。 | |

| | | | | |
|-------|---|------------|--|-------|
| No. | 59 | (P13に重複掲載) | | |
| 重点事業名 | 市場再整備計画の策定 | | 担当部署 | 市場整備課 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・市場再整備に係る自然環境への影響について調査を行うため、平成19年度に引き続き希少猛禽類関連調査を行う。 ・新市場周辺の環境と共存した整備を実現するため、環境配慮項目を検討する。 | 目標 | 環境に配慮した市場再整備 | |
| | | 実績 | 〔20年度事業費：28,303千円〕 1. 自然環境確認調査 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー会議 ・営巣場所確認調査 ・繁殖確認調査 ・食痕調査 ・行動圏調査 2. 環境配慮計画の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮項目の検討 | |

| | | | | |
|-------|---|----|--|-------|
| No. | 60 | | | |
| 重点事業名 | 柏市地球温暖化対策条例第8・9条及び配慮指針による指導 | | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 事業者に対して、地球温暖化対策の総合的かつ計画的な削減を図ることにより、温室効果ガスの削減に努めてもらう。 | 実績 | 〔20年度事業費：1,720千円〕 削減計画実施状況報告書及び環境配慮計画策定報告書をホームページで公表した。 | |

| | | | | |
|-------|--|----|--|-------|
| No. | 61 | | | |
| 実施事業名 | 地球環境保全の啓発 | | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 環境基本法において、6月5日を「環境の日」と定めているところから、柏市環境基本条例で6月を環境の月と定め、環境の保全及び活動を推進するための啓発事業を実施する。 | 実績 | 〔20年度事業費：2,580千円〕 18,19,20年度 「ストップ！ 温暖化展」 平成20年5月27日～6月2日 | |

基本目標（分野別目標）

市民との協働 - 市民とともにつくる環境

『市民，事業者，民間団体，市が主体的に，良好な環境を保全・創造して，次世代に引き継ぐように努めます。』

基本方針

市民・事業者の主体的な活動の推進

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|-----------------------|-------------|--|------------------|-------------------|
| 対策 | 市民，事業者，市の協働による環境保全事業数 | 市民，事業者，市の協働 | 15事業 (環境基本計画に位置付けた重点事業) (平成13年度) | 80事業 (平成22年度) | 100事業 (平成27年度) |

実施事業の進捗状況（6事業）

| No. | 62 | | |
|-------|---|----|--|
| 実施事業名 | 名戸ヶ谷湧水ビオトープの活用 | | 担当部署 |
| 事業内容 | <p>身近な湧水池，生物の生息空間として整備した名戸ヶ谷ビオトープにおいて，名戸ヶ谷ビオトープを育てる会と協働して，生態系調査及び自然観察会などの環境学習事業を実施する。</p> | 実績 | <p>〔20年度事業費：1,343千円〕</p> <p>1. 生態系調査 18年度 2回 19年度 2回 20年度 2回</p> <p>2. 自然観察会 18年度 1回 19年度 3回 20年度 2回</p> |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 63 | | |
| 実施事業名 | 酒井根下田の森の管理 | 担当部署 | 公園管理課 |
| 事業内容 | 市民が積極的に緑地の管理や農作業等に参加する機会をつくり，市民の自然に対する意識高揚と協力によって，管理運営を行う。 | 実績 | 〔20年度事業費：1,110千円〕 酒井根下田の森において，市民参加の管理を実施。 |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 64 | | |
| 実施事業名 | こどもエコクラブの推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 環境省が実施している，小・中学生を対象にした環境活動クラブ「こどもエコクラブ」の活動を推進する。 | 実績 | 〔20年度事業費：860千円〕 登録数 18年度 4団体 19年度 5団体 20年度 4団体 |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 65 | | |
| 実施事業名 | 環境活動リーダーの育成 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 地域の環境学習及び研究の場として南部クリーンセンター内に「かしわ環境ステーション」を設置し，環境情報の収集や発信のほか，市民との協働による環境学習を推進するため，市民による市民のための環境学習プログラムを実施する。 | 実績 | 〔20年度事業費：2,712千円〕 17年度 運営協議会設立，開設記念事業を実施 18～20年度 運営協議会で環境学習等の事業を実施 ・プログラムの実施 18年度 21回 19年度 19回 20年度 21回 |

| | | | | | | | | | |
|-------|---|------|--|------|----|------|----|------|----|
| No. | 66 | | | | | | | | |
| 実施事業名 | I S O 認証取得の支援 | 担当部署 | 商工振興課 | | | | | | |
| 事業内容 | <p>中小企業を対象に，I S O 認証取得費用の一部を助成し，中小企業の活性化を推進することにより柏市経済の活性化に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業 国際標準化機構が定める規格 IS09000 シリーズ又は IS014000 シリーズの認証取得事業 ・対象経費 予備審査手数料及び本審査手数料 ・補助金の額 対象経費の1/2（限度額30万円） | 実績 | <p>〔20年度事業費：2,620千円〕</p> <p>I S O 認証取得補助件数</p> <table> <tr> <td>18年度</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>3件</td> </tr> </table> | 18年度 | 5件 | 19年度 | 2件 | 20年度 | 3件 |
| 18年度 | 5件 | | | | | | | | |
| 19年度 | 2件 | | | | | | | | |
| 20年度 | 3件 | | | | | | | | |

| | | | |
|-------|---|------|--|
| No. | 67 | | |
| 実施事業名 | 市民等ネットワークの推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>「かしわ環境ステーション運営協議会」を平成17年8月に設立し，市民や学校，企業など多様な主体が連携して，地球環境を考え，様々な取り組みを行っている。</p> | 実績 | <p>〔20年度事業費：1,508千円〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境研究部会 環境シンポジウムの開催，環境データベースの作成など ・環境学習部会 野外観察会，エコクッキングの実施など ・情報交流部会 かしわ環境ステーションフェスタ2008，環境パネル展など |

基本方針

次世代を担う子どもたち、現世代を支えている人たちへの環境教育の充実

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|----------------------------|---------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 対策 | 環境に関する 校外学習参加 児童・生徒数 | 環境学習の推進 | 延べ 13,000 人 (平成 14 年度) | 延べ 13,500 人 (平成 22 年度) | 延べ 14,000 人 (平成 27 年度) |
| 対策 | 新しい環境情 報の発信回数 | 環境情報の提供 | 13 回 (平成 13 年度) | 20 回 (平成 22 年度) | 24 回以上 (平成 27 年度) |

実施・重点事業の進捗状況（5 事業）

| No. | 68 | | | |
|-------|--|----|---|-----|
| 実施事業名 | 学校環境学習の支援 | | 担当部署 | 指導課 |
| 事業内容 | 総合的な学習の時間、生活科、理科、社会科及び国語科等環境を教材にする科学学習の際に、環境学習支援の視点での助言指導を行う。また、特別活動及び学校行事等でも生かせる内容等を、要請訪問の際に伝達する。 | 実績 | [20 年度事業費：172 千円] 指導要請訪問 18 年度 9 回 19 年度 9 回 20 年度 7 回 | |

| No. | 69 | | | |
|-------|--|----|---|-------|
| 実施事業名 | 環境の月事業 | | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 環境基本法において、6 月 5 日を「環境の日」と定めているところから、柏市環境基本条例で 6 月を環境の月と定め、各部署において環境に関連した事業を実施する。 | 実績 | [20 年度事業費：774 千円] 環境の月実施事業 18 年度 16 事業 19 年度 16 事業 20 年度 18 事業 (手賀沼船上見学、環境パネル展、エコッキング) | |

| | | | |
|-------|--|------|---|
| No. | 70 | | |
| 実施事業名 | 自然環境啓発事業 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 手賀沼に生息及び飛来する野鳥の観察を通じて、沼とその周辺の自然環境の保全に対する啓発を図るため、手賀沼船上探鳥会を実施する。 | 実績 | <p>[20年度事業費：258千円]</p> <p>参加者数 18年度 35人 19年度 35人 20年度 35人</p> |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 71 | | |
| 実施事業名 | 地域環境学習の支援 | 担当部署 | 生涯学習課 |
| 事業内容 | 市民団体が主催する学習会等に市職員等が出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習等を行う「生涯学習まちづくり出前講座」を実施する。 | 実績 | <p>[20年度事業費：3,558千円]</p> <p>環境関連講座の実施 18年度 3件 19年度 4件 20年度 6件</p> |

| | | | |
|-------|----------------|------|--|
| No. | 72 | | |
| 重点事業名 | 環境情報の提供 | 担当部署 | 廃棄物政策課 環境保全課 |
| 事業内容 | 広報かしわによりPRを行う。 | 目標値 | 環境関連記事の掲載：15回 |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：430千円]</p> <p>環境関連記事の掲載 18年度 38回 19年度 67回 20年度 69回</p> |

基本方針

県や近隣市町との連携

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|----------------------|------------|---------------------------------------|-----------------|-----------------|
| 対策 | 県や近隣市町との連携による環境保全事業数 | 県や近隣市町との連携 | 2事業 (環境基本計画に位置付けた重点事業) (平成13年度) | 3事業 (平成22年度) | 5事業 (平成27年度) |

実施・重点事業の進捗状況(1事業)

| | | |
|-------|--|--|
| No. | 73 | |
| 重点事業名 | 手賀沼水環境保全協議会 | 担当部署 環境保全課 |
| 事業内容 | 手賀沼の水質浄化を目的に、千葉県と手賀沼流域の7市で手賀沼浄化事業連絡会議を組織し、各種浄化対策を実施する。 | 目標 |
| | 主な事業 ・アオコの回収 ・ホテイアオイの植栽 ・市街地排水浄化対策モデル事業 ・クリーン手賀沼ポスター展の開催 ・啓発用ポスターやパンフレットの配布など | 実績 浄化対策の実施 [20年度事業費：20,106千円] ・アオコの回収 18年度 215t 19年度 252t 20年度 0t ・ホテイアオイの植栽 18年度 5,000株 19年度 5,000株 20年度 2,500株 ・ポスターコンクール入賞作品を県庁、手賀沼親水広場、柏市等で展示(1月～3月)。 ・啓発用ポスターやパンフレットを関係機関に配布。 |

基本方針

環境基本計画の推進と評価システムの構築

| 区分 | 環境指標 | 環境側面 | 計画策定時 | 中間目標 | 目標数値 |
|----|---------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 対策 | 環境への満足度 | 環境基本計画の評価 | 30% (平成14年度) | 50% (平成22年度) | 80% (平成27年度) |

実施・重点事業の進捗状況（5事業）

| No. | 74 | | |
|-------|------------------------------------|------|---|
| 実施事業名 | 環境基本計画の推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 環境基本計画で定める望ましい環境像の実現に向けて、重点事業を定める。 | 実績 | <p>[20年度事業費：6,059,082千円]</p> <p>重点事業数 18年度 28事業 19年度 33事業 20年度 32事業</p> <p>※17年度より、柏市第四次総合計画の実施計画に基づき、重点計画を設定</p> |

| No. | 75 | | |
|-------|--|------|--|
| 実施事業名 | 環境基本計画の改訂 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | 柏市と旧沼南町が合併したこと、平成15年の改訂から5年が経過し、解決すべき新たな環境課題がみられることから改訂したもの。 | 目標 | 計画の改訂 |
| | | 実績 | <p>[20年度事業費：11,645千円]</p> <p>改訂までの審議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏市環境審議会による審議 ・柏市環境基本計画検討部会による審議 ・庁内検討会議による審議 ・パブリックコメントの実施 |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 76 | | |
| 重点事業名 | 環境マネジメントシステムの推進 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>環境負荷の低減や職員の環境保全意識の向上を図るため、平成20年度に柏市独自の環境マネジメントシステム（KEMS）の運用を開始。</p> <p>環境マネジメントシステムでは、環境基本計画の重点事業などを環境目標として設定し、その達成度をチェックすることにより、環境保全施策を効果的に進行管理する。</p> | 目標 | PDCAサイクルによる改善 |
| | | 実績 | <p>〔20年度事業費：5,160千円〕</p> <p>18年度 ISO14001更新審査を受け、認証登録を更新</p> <p>19年度 ISO14001認証を返上し、柏市独自の環境管理システムを検討</p> <p>20年度 柏市独自の環境管理システム（KEMS）の運用を開始</p> |

| | | | |
|-------|---|------|---|
| No. | 77 | | |
| 実施事業名 | 環境白書・年次報告書の作成 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>市民意見を取り入れ反映していくため、市内の環境の状況や環境保全施策についてとりまとめ、環境白書や年次報告書として作成し公表する。</p> | 実績 | <p>〔20年度事業費：2,580千円〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年2月に環境白書を作成し、ホームページで公開 平成20年10月に年次報告書（本冊子）を作成し、ホームページ等で公表 |

| | | | |
|-------|--|------|--|
| No. | 78 | | |
| 実施事業名 | 市民意見の反映 | 担当部署 | 環境保全課 |
| 事業内容 | <p>柏市環境基本条例に基づき、環境基本計画の他、環境の保全及び創造に関する重要な施策を定める際に、案を公表し、市民の意見を採り入れる。</p> | 実績 | <p>〔20年度事業費：2,073千円〕</p> <p>平成19年度環境報告書（案）について、ホームページ等で公表し、市民から意見を募集した。（10/15～11/15）</p> |

ご意見をお寄せ下さい

柏市では、毎年、環境基本計画の取組状況を公表し、皆様からの意見を環境施策に反映させていきます。

つきましては、本書について、皆様からのご意見をお待ちしております。

閲覧方法

報告書の内容は市のホームページ、環境保全課、図書館本館・分館、本庁舎行政資料室で見ることができます。

応募方法

「環境報告書への意見」と明記し、住所・氏名・電話番号及び意見（様式は自由です）をご記入の上、平成21年9月30日までに郵送、FAX又はメールにて、下記提出先までお寄せ下さい。

提出先

柏市 環境部 環境保全課

〒277-8505 柏市柏5-10-1

電話 04-7167-1695

FAX 04-7163-3728

Eメール info-knky@city.kashiwa.lg.jp



平成21年9月

発行 柏市

編集 環境部環境保全課